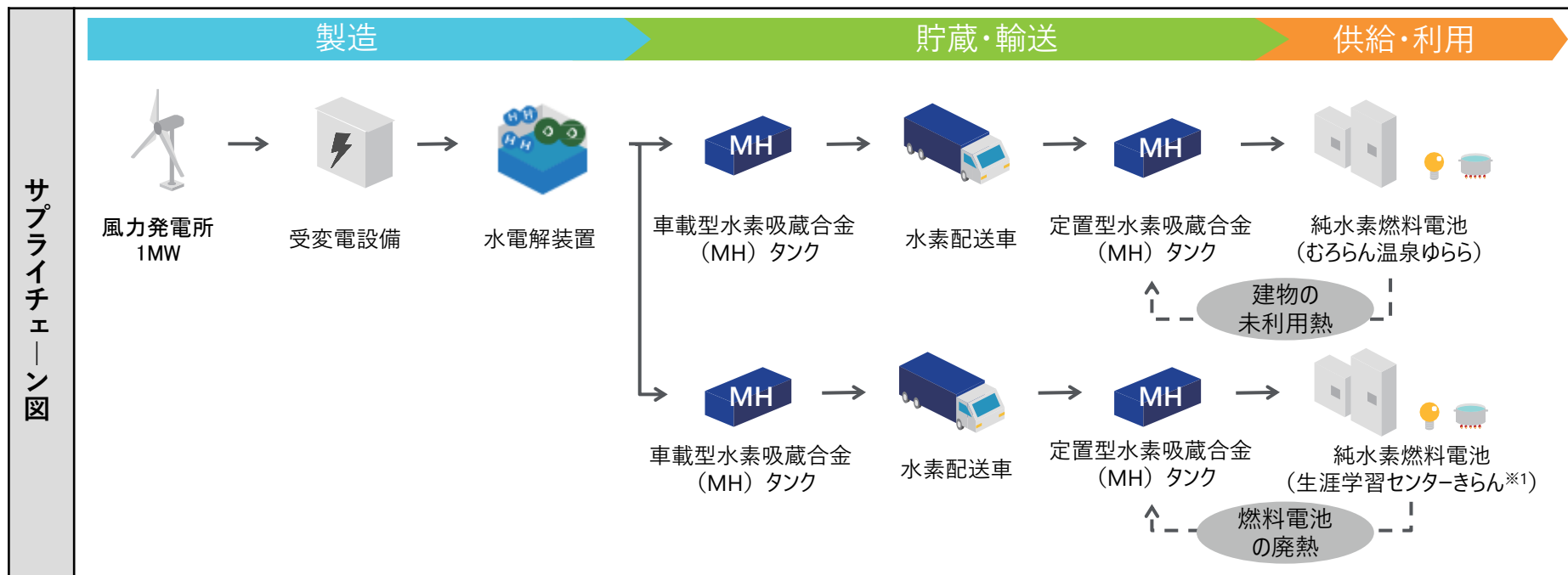


建物及び街区における水素利用普及を目指した低圧水素配送システム実証事業 (北海道室蘭市、実施代表者：大成建設)

実証概要とサプライチェーン図

概要	風力発電で水素を製造し、水素吸蔵合金（MH）タンクと水素配送車を用いることで、低圧のまま貯蔵・輸送（水素のみの移送）を行っている。純水素燃料電池を稼働させて、電力と熱を需要側施設へ供給する。また、むろらん温泉ゆらの建物未利用熱や生涯学習センターきらんの燃料電池排熱を水素移送に利用することで、エネルギー効率の向上を目指す。生涯学習センターきらんへの水素供給は令和2年度に開始した。		
事業場所	北海道室蘭市	事業期間	平成30年度～令和3年度



※1 生涯学習センターきらんの燃料電池設置は令和2年度
(大成建設実証事業資料より作成)